

⑨ 三柳団地2区防災会 (米子市)

「防災」を多世代が交流しながら学び、災害時の住民全員の安全な避難を目指して取り組んでいる。10月には今年で5回目となる防災フェスティバル(訓練)を隣接の加茂3区中自治会と共同で開催。122人が参加し防災の輪を広げた。

三柳団地2区は約110世帯、約250人が美保湾に面した地域に住む。要支援者となる高齢者や障害者を災害から守ろうと、2



多世代で防災の輪広げる

防災フェスティバルで初期消火の訓練をする子どもら
 10月27日、米子市西三柳



018年に「支え愛マップ」を作成。19年から専任の防災会長を置き、自主防災の取り組みを本格化した。

同年、ふれあいサロンが吹き出しを担当して初めての防災訓練を実施。22年からは防災を楽しく学んでもらおうと名称をフェスティバルとした。消防車を招いて子どもも消防服を体験した。

今年、西のミラ・クル・とつと運動推進補助金を活用し、津波の避難対策で協力を得る加茂3区中と共同で行った。同自治会は支え愛マップを昨年作成したばかりで、防災訓練も初めてだったが、経験を積んだ三柳団地2区との連携でスムーズに吹き出しなどを進めた。

稲田浩一防災部長(60)は「高齢者や子ども、障害者の皆さんと普段からコミュニケーションを取り、要支援者同士でも初動対応ができるよう臨んでいる」と防災対策に余念がない。